
とある定時制高校の話

湊川 喜雄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある定時制高校の話

【Nコード】

N0698A

【作者名】

湊川 喜雄

【あらすじ】

うだつのあがない高校生の高校生活

第一話：定時制高校には危険がいっぱい！？（前書き）

この話はほぼ実話のとある定時制高校のうだつの上がない高校生の話です。よかったら読んでください

第一話：定時制高校には危険がいっぱい！？

2002年春・・・とある県のとある市のとある定時制高校の入学式。

校門の前に一人の男が立っている。

この男は田中修平この話の主人公だ。

先ずはこの男の過去について語りたいと思う。

修平は小学校からあまり学校に行かずゲームばかりして中学まで過ごしていたので極度のオタクだった。

この話はこの男のちよつとさえない日常生活を送る・・・

第一話：定時制高校には危険がいっぱい！？（前書き）

定時制高校と言えば、昔は働く人の学校と言う感じですが最近はやンキーやひきこもりのような人など色々な人が通って居ます。そういう今時の定時制高校を書けたらいいなと思います。まずは第一話よろしければ読んでやって下さい。

第一話：定時制高校には危険がいっぱい！？

「はあ〜っ」

校門の前で思わず溜め息が出た。

俺は田中修平。

今日は高校の入学式だ。

しかしこの高校、普通の高校とはちょっと違う、『定時制高校』だ。普通の高校と違い、授業は晩である、俺は朝起きるのが苦手なのでこれは嬉しかった。

なぜこの高校に入ったかと言うと、俺は不登校で小学校3年から中学3年までろくに学校にいかず、家でゲームばかりしていた。

（まあ世に言う『オタク』って奴だ。

）ので行く学校がここしか無かったのだ。

まあ、そんなことはどうでもいい、取り合えず校舎の中に入り、自分のクラスを探す。

あった・・・一年E組だ。他の名前を見たが一緒に入学したツレの名前は無かった。

「はあ〜っ」

また溜め息が出た。

テンションが下がった・・・俺は取り合えず自分のクラスに行く事にした。

そしてクラスの中に入って見たが、その瞬間！正直ビビった。

クラスにヤンキー風の人間が結構いたのだ。

俺の脳裏で警報が鳴り響く、ヤバイ、俺のテンションは底まで落ちた。

「はあ〜っ」

本日、三回目の溜め息だ。

取り合えず自分の席に座ったがすぐに入学式のため体育館に移動になった。

頭のハゲた校長の長話も終わり帰ろうとしたら、向こうから二人の男が歩いて来る、一人は太った男で、もう一人はちよつと痩せた男だ。

「おゝい田中帰るか」

と太った方が声をかけてくる。

この二人は中学の時から知り合いで、太った方奥谷浩一おくやこういち太っていて顔はヤクザ見たいだが性格は温厚で気のいい奴だ。

もう一人の痩せた方は、加地憲彦かじのりひこ口数は少ないが中々おもしろい奴だ。

二人ともやはりあまり中学に行つて無かったのでこの学校に入学した。

そして三人で帰ろうと校門に出るとそこには異様な風景が広がっていた。

そこにはヤンキーの方々が溜りまくっていた。

またもやビビったがそこをさつさと通り抜けた。

マジでほんとこの学校で生活出来るか心配になった。

校門を抜け校舎を見上げると『入学おめでとつ』と言つ看板を見つけた。俺は心の中で

「全然めでたないわ」

と呟くと同時に

「はあゝつと」

本日四回目の深い溜め息を出しながら

帰路に着いた。つづく

第一話：定時制高校には危険がいっぱい！？（後書き）

いかがだったでしょうか？田中が通う高校のモチーフになった学校では、本当に帰りはヤンキーが溜りまくってます。車で学校前に路駐している奴も居ます。さてこれから田中はあの学校でどのような生活を送るのか！？よろしければ次も読んでやって下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0698a/>

とある定時制高校の話

2010年10月28日06時58分発行